

# 国際フェリーの拠点として

中国航路 週4便  
韓国航路 週1便

既存北海道航路

韓国航路

京都舞鶴港

中国航路

太倉

上海

航空機より安く、コンテナより早い！ スピードボート投入による航路開設

# 国際海上コンテナの拠点として

中国航路 週4便  
韓国航路 週2便  
ロシア航路 週1便

ナホトカ方面  
(ナホトカ・ポストーチニー)

ロシア航路

大連方面  
(黄海・渤海)

韓国航路

京都舞鶴港

青島

中国航路

釜山

上海方面  
(上海・太倉)

— 既存航路  
... 新規誘致航路

既存施設を活用したコンテナ航路の充実

# 外航クルーズの拠点として

年間14回程度の寄港

小樽港

伏木富山港

京都舞鶴港

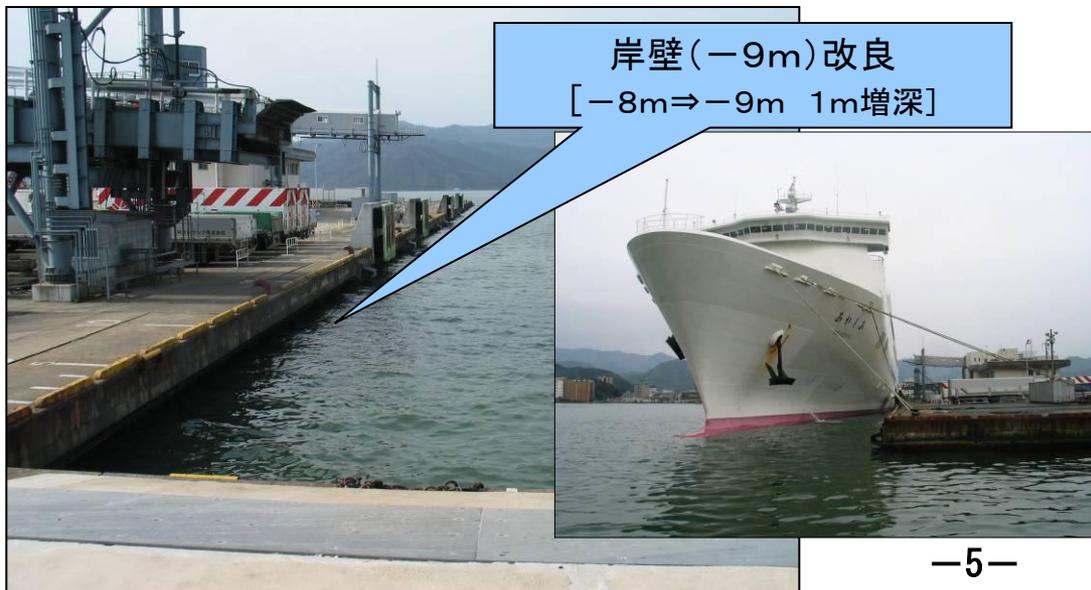
# 複合一貫輸送（フェリー）を支える事業



新日本海フェリー  
舞鶴～小樽航路(1日1便)

船舶の諸元

総トン数 : 約17,000ト  
航海速力 : 30.5ノット  
車両積載台数:トラック158台  
乗用車66台



舞鶴港のフェリー貨物は、内貿貨物の約8割を占めている。平成16年に高速船を導入したことで運航時間を約10時間短縮し、舞鶴～小樽間を約20時間結ぶフェリーの需要はさらに高まっている。

このような要請に応えるべく、平成18年に港湾計画を一部変更しフェリー船舶の大型化に対応するため岸壁の水深を8mから9mに増深する岸壁改良事業を進めています。